

第 5 回草津市総合計画特別委員会における
主な意見とその対応について

○は委員会での意見・対応
→は委員会後の意見・対応

頁	主な意見	対応
【(1) 将来ビジョンについて】		
—	「地域」と「まち」はどのような使い分けをしているのか。使い分けの説明がある方が分かりやすいのではないか。	○「地域」は、各学区単位での地域などを想定しており、「まち」は市全体を想定して用いており、使い分けをしています。また、使い分けの説明書きについては、検討します。 →説明書きを追記しました。
—	方向性の検討について、本市は子育て・教育施策などに力を入れているとして、人口減少社会・少子高齢化を前提としていることに違和感がある。人口減少対策を行わなければ、「人口の見通し」のとおり人口減少局面を迎えるのであり、今後の人口減少対策によっては人口が増えることもあるかと思う。本市ならではの視点を大切にしてくださいようお願いしたい。	○「人口の見通し」は、人口減少対策を含め、総合計画に基づく施策展開を行っていくことを前提とした人口推計ですので、第 6 次草津市総合計画では、人口減少局面を迎えるにあたっての対策や準備をしっかりと行う必要があると考えております。また、草津市ならではの視点を大切にしながら、総合計画の策定に取り組みます。
—	高齢者に対する優しさや思いやりの視点は将来ビジョンの検討資料の中に含まれているのか。	○『人々のつながり』に含まれております。
—	「挑戦」の視点は将来ビジョンの検討資料の中に含まれているのか。	○『これからのまちづくりの方向性』の「これからも諸課題に果敢に挑戦」の部分や、前回の御意見を踏まえて追記した『地域のつながり』の「さらに」の部分に含まれております。
—	単に「さらに」を追記しただけにならないよう、「挑戦」の視点を重視して進めていただきたい。	
—	『地域のつながり』の「まちの中に“つながり”をつくる」は何をイメージしているのか。	○コンパクトシティ・プラス・ネットワークを念頭に置いた物理的な“つながり”をイメージしております。
—	現行の延長線上の取組を進めるという印象を受け、本市の目指すべき姿が見えてこない。もっと前向きな希望を持てるものにならないか。	○将来ビジョンのキャッチフレーズは御意見の視点を踏まえたものにしていくと考えております。
—	視点 4 “誇りや愛着”の醸成について、現在の到達度はどの程度であると考えているか。	○第 5 次草津市総合計画の総括評価の中でお示ししたとおり、「草津市民であることに誇りや愛着を持っている」市民の割合は上昇傾向にあるものの 50%を超えたところであり、これからも“誇りや愛着”の醸成に向けた取組を進める必要があると考えております。

頁	主な意見	対応
ー	自分達のまちは自分達でつくっていくという視点を大切にしていきたい。	
	方向性の検討について、4つめの●は不要ではないか。	○修正します。 → <u>削除しました。</u>
	草津市が広域的に貢献し、自治体としての価値を上げることが、市民の誇りに繋がると思う。『地域のつながり』のところで、「将来にわたって“住みやすい”まちとなっていくます」とあるが、住んでいる人だけに限定しているので、考え方を広げてはどうか。	○御意見の内容については、『時代のつながり』の「将来にわたり、住む人、訪れる人、誰からも愛されるまち」に含めております。
【(2) 将来のまちの構造について】		
P27	「学術・広域連携拠点」について、「丘陵・産業・交流ゾーン」の中の拠点であることから、説明の中に産業の側面も記載できないか。	○検討します。 → <u>追記しました。</u>
【(3) まちづくりの基本目標について】		
P29	「まちづくりの基本理念」であるならば、現在の表現でも納得できるが、「理念」を「目標」とするならば、「〇〇の実現に向けた取組を進めます」ではなく、「〇〇を実現します」と言い切った表現をしていただきたい。取り組むこと自体が目標ではないのではないか。	○今回、お示ししているのは「まちづくりの基本目標」の中の分野ごとの取組の方向性であり、「まちづくりの基本目標」は、将来ビジョンのキャッチフレーズと併せてお示ししたいと考えております。 → <u>基本目標については、指標等を設定するなど、具体的な到達点を示すような「目標」ではなく、理念を含めた大きな方向性を示す「基本目標」として整理させていただきました。</u>
	今後、まちづくりの基本目標に言い切る形の目標が書かれたとしても、その下に紐づく分野ごとの取組の方向性が抽象的に書かれることに違和感がある。	○検討します。 → <u>基本目標については、理念を含めた大きな方向性を示すものとして整理させていただきましたので、分野ごとの記載については、原案のとおり、取組の方向性を示すものとさせていただきます。また、具体的な取組内容や指標等については、基本計画で記載させていただきます。</u>
P29	「協働」で書かれている「自分たちの力だけでは解決できない課題」の「自分たち」に行政は含まれているか。また、「協働」について、市民に押し付けている印象を受ける。	○個人・地域住民を想定していますが、記載については、検討します。また、基本計画の中では、現行の基本計画にも記載されているような形で行政の役割、市民の役割を記載する予定をしております。 → <u>修正しました。</u>

頁	主な意見	対応
P29	「SDG s」について、「17の目標を分野ごとに分類することで…」と記載されているが、分類するだけではSDGsの目標達成を目指したまちづくりは進められないのではないかと。また、「誰一人取り残さない」だけでなく「持続可能」の視点も必要ではないかと。	○検討します。 → <u>修正しました。</u>
P32	「健康」について、「医療保険制度の安定と市民の健康」は「市民の健康」を前にした方が良い。	○修正します。 → <u>修正しました。</u>
P32	「地域福祉」について、「丸ごと」の使い方だが、「～のために丸ごと対応する」など、なぜ「丸ごと」対応する必要があるのか記載いただいたほうがわかりやすいのではないかと。	○検討します。 → <u>修正しました。</u>
P35	「環境」について、「知識と経験を将来の世代に確実に伝えます」という表現が現行の基本構想のままであり古い表現に感じる。SDG sの視点を加えるなど修正してはどうか。	○修正します。 → <u>修正しました。</u>
P35	「交通」について、すべての内容が包含されている内容であると思うが、高齢化の進行による公共交通の重要性の増大や交通渋滞など、喫緊の課題もある中で、もっと危機感のある具体的な記載ができないか。	○検討します。 → <u>御意見の内容については、重要であるとと考えております。少し具体的な内容になりますので、基本計画での記載を検討させていただきます。</u>
P35	「都市形成」の郊外部の記載内容について、もっと具体的な記載ができないか。同分野の「まちなか」に関する記載と比較したときに抽象的な印象を受ける。	○検討します。 → <u>御意見の内容については、重要であるとと考えております。少し具体的な内容になりますので、基本計画での記載を検討させていただきます。</u>